

利賀っ子だより



R4. 10. 5

○ 学習発表会「金剛祭」に向けて 2

先日の朝の会で金剛祭までの日数を確認し、「わあ、まだまだだと思っていたのに。」「日がない。」とつぶやいていた子供たち。それでも、着々と準備が進んでいます。

低学年は、図画工作科の時間に作品づくりに取り組んでいました。「ここを開けると・・・ほら。」「ここに木を植えよう。あれっ立たない。」など、つぶやきながら、カッターナイフで造形紙を切って窓を開け、建物をつくっていました。つくりながら、どんどん想像が膨らんでいくことを楽しんでいる様子でした。



【1・2年生 図画工作科】

中学年では、総合的な学習の時間に自分たちが学習してきた「ロンレー子ども村」について、どのように発表すると見ている人にも伝わりやすいかについて相談していました。身振りをつけること、話し方の抑揚を工夫すること、小道具を準備すること等、これまでの経験を基に意見を述べていました。



【5・6年生家庭科】

高学年は、家庭科の時間にトートバックやエプロンを制作していました。ミシンをかけたり、アイロンで縫い代を折り曲げたり、どの子供も慎重に作業している様子が印象的でした。制作した作品は、展示の後、自分が使うという見通しがあるからこそ、丁寧に、丈夫に仕上げようとする姿になっているのだと思いました。

4年生以上は、地域の方にお越しいただいて民謡「麦や節」の練習をしています。講師の先生からは、動きのそろえ方、細かい手の所作等、「見せる」ことを意識した熱のこもった指導を受けていました。指導を受けたことを、すぐに自分の動きに取り入れようと繰り返し動きの確認をしていました。

地域の民謡を「知っている」、「踊ることができる」という段階から、「正しく受け継ぐ」という段階であること、そして、それが自分たちの役割であることを感じていることが伝わってきました。

金剛祭は、日々の学習の積み重ねの成果を見ていただく機会であり、子供たちの一段の成長を促す機会であることを大事にして「チーム利賀」で支援にあたっていきたいと思います。

(高田 公美)



【民謡練習 男子】



【民謡練習 女子】